

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.27
“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～
令和4年7月19日 文責:安生昌弘

◆ かわいい子には旅をさせよ

6月30日から7月1日の6年生修学旅行(会津方面)と7月14日から15日の5年生宿泊学習(那須甲子青少年自然の家)に行っていました。どちらも各学年の先生達の行き届いた準備や指導のお陰でスムーズに実施できたのですが、学年それぞれに成長段階の違いによる姿を見せてくれました。

6年生は昨年の宿泊学習が初めての集団宿泊や集団活動でしたが、ルールを守ったり、友達と協力したりして集団生活を送ることを小さな失敗を乗り越えながらもやり遂げました。それを活かしての修学旅行でしたので、実に整然と落ち着いて行動することが出来ました。特に感心したのが、県立博物館での丁寧な見学態度でした。通常の6年生だと通り過ぎるように見学するところを、旺盛な興味関心を発揮して一つ一つの展示を見つめる成長した姿がありました。

5年生は初めての集団宿泊学習で実に多くのことを学んできました。登る際にロープウェイを使うとは言え、2,000 m級の登山を歩き通すことや互いに気遣いながら集団生活を送ることは、子どもたちにとっては結構ハードルの高い体験活動だったと思います。何とかやり遂げたことで心は成長し、来年の修学旅行では今年の6年生に負けない成長した姿を見せてくれることを期待しています。



がんばれば、何とか乗り越えられる試練を子どもに与えることが、成長につながります。二つの体験学習から“かわいい子には旅をさせよ”(子どもの成長の為に苦勞体験をさせなさい)を改めて感じさせてもらいました。

◆ 家族でも使える“自然の家”

5年生が行ってきたのは国立那須甲子青少年自然の家ですが、県内には他にも次のような青少年の宿泊施設があります。国立磐梯青少年交流の家、県立郡山自然の家、会津自然の家、いわき海浜自然の家です。これらは全て、学校以外



の団体や家族(ファミリー)でも利用することが出来るのです。宿泊費はシーツ代と食事代程度なのでとてもリーズナブルです。

我が家では、娘が幼稚園年中組、息子が小学1年生の時から6年間、毎年夏休みにファミリーとして那須甲子自然の家に泊まり自然体験するのを恒例行事としました。薪割りをしての野外炊飯を毎年やって全メニューを制覇したり、大人の腰くらいまで熊笹の生い茂る森の中を顔がやっと笹から出る息子を先頭に探検している時、息子が斜面を滑り落ちて姿を消して焦ったりと得がたい体験を積むことが出来ました。3年前に結婚した息子が、両家顔合わせで、子ども時代の一番の思い出の場所に“那須甲子自然の家”を挙げてくれたことに感激しました。

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。